

たいわみらい 研修報告書

1 日付

令和8年7月27日（月）～7月28日（火）

2 研修項目

令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

3 研修の目的

- (1) 「マタニティ応援プロジェクト」やオーガニック給食の提供など「食」を通した健康づくりの先進的な取組を学ぶ
- (2) 議会での生成A I 活用について学ぶ
- (3) 公民連携で地域を再生する方法を学ぶ
- (4) 政策議会の質問力向上について学ぶ

4 研修場所

全国市町村国際文化研修所

5 参加者

深谷珠江

6 研修内容

- (1) 泉大津市発 農と食と健康を守るためのサプライチェーンの再構築

講師：大阪府泉大津市長 南出賢一氏

泉大津市は人口約7.2万人で、江戸時代から綿花栽培と綿織物の製造が盛んであり、織りと農業のまちとして発展した。泉大津市と近隣地域で毛布の国内生産の約90パーセントを誇る。現代では食料自給率が2.2パーセントとなっており、米を全国14市町村から155トン買い上げるダイレクトサプライチェーンを行っている。また、企業との包括連携協定により、金芽米を学校給食に提供したり妊婦にプレゼントするなど、健康な身体づくりに力を入れ、医療費を抑えることができるまちとなってきた。

- (2) 生成A I は議会をどう変えるか？

～住民参加と政策力強化の観点から～

講師：早稲田大学デモクラシー創造研究所 招聘研究員 山内健輔氏

「地域経営のための議会改革度調査」によると、生成A I は議会だよりの作成、住民からの問合せへの対応や説明資料の作成、所管事務調査に利用されており、利用している議会が前年に比べ3～4倍増加している項目もある。また、独自に生成A I の利用指針・ルールを策定している議会もある。生成A I を議会機能（特に住民参加と政策力強化）に活用する観点、効率化で生み出された時間と分析力をどう活用できるかについて確認した。

- (3) 公民連携で地域を再生する

～オガールが実践してきた協働のデザイン～

講師：株式会社オガール 代表取締役 岡崎正信氏

現在、岩手県紫波郡紫波町と沖縄県南城市の2拠点で暮らす岡崎氏が実践してきた公共空間、公共事業のリノベーションについて学んだ。

オガールタウン、オガールセンター、オガールプラザなどを整備したオガールプロジェクト、公権力を上手に使いこなす、ランドスケープ、ピンホールマーケティングなど土地の価値が上がることを考える。

(4) 政策議会の質問力

講師：法政大学法学部政治学科 教授 土山希美枝氏

ア 政策議会としての議会

イ 一般質問の機能と制度

ウ 一般質問はなぜ機能していないか

エ 一般質問を機能させるために

(ア) 論点を整理して磨く

(イ) 争点を発見し、現状を事実でとらえ、分析するための情報収集

(ウ) 一般質問の問いだし方を考える

(エ) いい一般質問とは、どんな質問か

オ 政策議会の資源としての一般質問

カ 政策議会による政策形成を考える

7 所感

今回の研修では、食と健康、生成AI、官民連携、政策議会についてなど、分野が異なる講座を2日間に渡り受講でき、これからの議員活動に広がりができた。

泉大津市の南出市長の講義では、市民の健康増進や米不足などの食料危機への対応を図るため、学校給食やマタニティ応援プロジェクトに企業との包括連携協定による金芽米を取り入れているとのことでした。最近では泉大津市の出生時の赤ちゃんの体重増加、妊婦の体調不良軽減、医療費の減少、給食の食べ残し減少など、様々な効果が出ているとのこと、食育の観点から本市においても食の質を上げる取組を提案したい。

公民連携で地域を再生させるオガールが実践してきた協働のデザインの講義では、ランドスケープ（風景）が不動産価値を上げるという点が興味深く、これからの知多市をデザインするのに当たり、重要なポイントになると感じた。